



やらまいか

クラブテーマ：スマイルロータリー、新時代へ進化

会長／太田 稔 幹事／池田 弘 会報委員会／乙部享祐・杉浦和人・原田浩史

例会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内

Tel.0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP: <http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第21回 通算1742回 2024年1月23日 (火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/9 修正出席率
		72名	37名	58.7%	85.1%

ゲスト：財賀寺住職 西本全秀さん (豊川)

ビジター：メイクアップ受付2名

★会長あいさつ



太田稔会長

先週の職場例会は、豊橋総合体育館で三遠ネオフェニックスの試合を見させていただきました。勝ち試合で見ていて楽しか

ったです。また、この土日も試合が行われて連勝記録を伸ばしたということで、私たちが応援に行った甲斐もあったかなと思っています。

今日からまた今年一番の寒波が来るということです。風も強くなって外は寒くなりました。お体には十分気をつけて頂きたいと思います。

商工会の1泊研修旅行で山梨と神奈川方面に出掛けてきました。日曜日は、ずっと雨に降られました。昨日は曇っていましたが雨には降られませんでした。2日間とも上着がいらないうらいました。富士山の周りに行くと日本人が少なく、中国語や韓国語がよく聴こえてきました。

台湾の台中松竹ロータリークラブから4月の第2の週にこちらの方に来たいと連絡がありました。4月7日に地区研修協議会、4月8日に分区ゴルフ大会があるので、そこを外してほしいと連絡をしています。来訪の日程が決まりましたら皆様にお伝えします。みんなで歓迎をしたいと思いますので宜しくお願いします。

創立記念日例会の時の事業所創業祝いをさせて頂きます。寺部良洋会員の創業70周年、柴田浩志会員の創業60周年のお祝いの記念品を贈呈させて頂きます。

今日は、西本さんの開創1300年記念事業について卓話です。宜しくお願いします。



★幹事報告

池田弘幹事

例会臨時変更のお知らせ
2月3日合同節分例会について
地区のRFFのチケット購入のお願い

★委員会報告

雑誌広報委員会 近藤利行委員長
ロータリーの友1月号の紹介

★外部講師の卓話

「財賀寺開創 1300 年記念事業について」

財賀寺 住職 西本全秀氏



皆さん、こんにちは。財賀寺の住職の西本でございます。本日は卓話の時間を頂きまして誠にありがとうございます。

平成7年に「カムバック仁王様市民の会」を作ってもらって、その集大成として平成10年10月10日に横綱貴乃花の土俵入りをして頂きました。仁王門の前には、今でも土俵の跡が残っています。1999年6月号のロータリーの友に大沢茂樹さんが、その時のことを投稿して頂いています。また、当時豊川宝飯RC会員の八木敏司さんが、時習館高校の同窓会誌にも投稿をして頂きました。それ以来、仁王門が財賀寺にドーンと構えています。先日、日本全国の仁王様だけの写真を撮っている人がNHKに出ていました。番組の中で、私が一番カッコイイと思う仁王様は財賀寺の仁王様と紹介して頂きまして、全国区になりました。

お寺については、パンフレットをご覧いただければと思います。何とんでも財賀寺は、仁王様がメインですが、国指定重要文化財である本堂内のお厨子のお扉を開けるのが、今回の御開帳になります。財賀寺は、神亀元年(724年)に行基菩薩様が財賀寺を開創され、弘仁4年(813年)に弘法大師が中興されました。ということで、神亀元年(724年)より令和6年(2024年)で1300年となり、今年お祝いを行うということで計画をしています。

開創1300年記念奉賛寄付勸募帳という形で皆様方にご協力をお願いをさせて頂いております。奉賛会の会長さんを小野喜明さんをお願いをしています。

「財賀寺は、聖武天皇勅願の道場で神亀元年(724年)僧行基開創の古刹、弘法大師中興の霊山であります。特に本尊千手観世音菩薩並に二十八部衆は行基一刀三礼の尊像で厄除開運の靈験洵に顕著であります。又、文殊菩薩は永延年中三河の国守大江定基

公の念持仏で日本三文殊として広く知れ亘っております。仁王様(金剛力士像)は平安時代筆頭の重要文化財に、仁王門は室町時代の建造物として本殿内厨子とともに同じく国の重要文化財に指定されています。2024年(令和6年)には開創より数えて1300年の節目を迎えます。二十八部衆の全面的修理、文殊堂屋根葺き替え等の記念事業を行うと同時に、本尊千手観音様に感謝のご開帳を伴う盛大な記念法要、記念事業を執り行いたく存じております。時下経済状態極めて厳しい折柄、洵に申しかねますが事情ご賢察の上、浄業達成に絶大なるご支援を賜りますよう、伏して懇願申し上げます。合掌」

記念事業をいくつか計画をしています。文化財二十八部衆修理、文殊堂屋根葺き替え工事、重要文化財仁王門屋根葺き替え工事、落慶法要及び記念行事、境内整備費、その他荘厳具等整備費、ご本尊お前立巡行等PR事業費。

文化財二十八部衆の修理について説明します。二十八部衆は、千手観音様の眷属になります。左右ひな壇にしまして、真ん中に千手観音様がいらっしゃる形でお祀りをしています。カラフルな仏様たちです。一体ずつご紹介します。摩睺羅伽さんは、琵琶を演奏している仏様です。頭の上で蛇がとぐろを巻いています。難陀龍王さんは龍神様で、頭の上には龍がいます。沙伽羅龍王さんも龍神様になります。胸のあたりに龍の絵が描いてあります。神母天さんは、手にシンバルのような楽器を持っています。実はお面を被っていて、お面は取ることができます。



阿修羅王さんです。とても有名なのは興福寺の阿修羅像ですが、財賀寺にも阿修羅さんがいらっしゃいます。両手にお月様とお日様の鏡を持っています。後ろから見るとお月様の方は白く、お日様の方が赤くなっているのが分かります。迦楼羅王さんです。インドネシアガルーダ航空というのがありますが、ガルーダとこのカルラは言語によって発音が変わりますが、同じものです。インドネシアではとても喜

ばれる鳥の仏様、蛇を食べるのが特徴の仏様です。インドで蛇はコブラですので、コブラを食べてくれるので神様になるわけです。



二十八部衆を運ぶ様子としては、寸法を測って、写真を撮って、薄い紙や布を巻き付けて担架に乗せて京都まで運びました。京都の京都国立博物館の敷地の中に美術院国宝修理所があります。ここでは、私共の仏様を何度か修理をして頂いております。仁王像2体、阿弥陀如来像、宝冠阿弥陀如来像、千手観音お前立様も京都で修理をして頂きました。そこでは、美術院の工房長の八坂寿史さんを中心に多くの仏様を修理して頂きました。今は二十八部衆の最後の修理で今年5月には修理を終えて帰ってきます。

二十八部衆が帰ってきたら、円陣展示をしようと考えています。皆様には、この円陣の中に入ってぐるっと仏様に包まれる体験をして頂こうと計画しております。是非ともご体験をお勧めします。

財賀寺では、毎年お正月の展示をします。二十八部衆の中の3体を展示しています。

記念事業の一つの文殊堂屋根葺き替え工事を終えました。下から見ると垂木がきれいになっています。柱や彫り物は触っておりませんので、垂木の白さとの違いが良く分かります。

ご本尊お前立巡行等 PR 事業というのをやっております。この仏様を「ご本尊お前立様巡行 観音様がやって来る」ということで車で色んなところに運んで、皆さんにお参りをさせて頂いております。箱を4つ作って仏様を分解して箱に納めて運びます。オーエスジー様、ナツメ様、一般のお宅もあります。奈良県まで行ったこともあります。

写経奉納もやります。紺紙金泥特別写経もお勧めしております。

落慶法要などの記念行事は、今年の10月12日から11月4日に当山にて行います。内拝・祈祷、パフォーマンス奉納、写真展、写経場、マルシェなど行います。初日の10月12日には、高野山真言宗管長猊下をお迎えしてご開帳法要を行います。二十八部

衆の円陣披露は、10月20日から11月4日まで行います。昨年の11月3日にご開帳を告げる角塔婆を建立しました。ご開帳の期間は、お厨子の扉が開いており、先ほどの紺紙金泥特別写経をこの中にご奉納する予定となっております。

開創1300年記念ご開帳は、本尊千手観音様だけでなく、文殊菩薩様もご開帳申し上げようと思っております。本物をこの秋にご覧いただければと思います。本日はお招きを頂きましてありがとうございます。



★ニコニコボックス

西本全秀さん	本日、卓話をさせていただきます
太田 稔会長	西本さんを歓迎して
池田 弘幹事	〃
太田茂樹会員	フェニックスの応援ありがとう
井指和昭会員	誕生日を祝って頂き
大場 篤会員	〃
青谷友章会員	〃
度会秀子会員	〃
来山健一会員	〃
大木悦子会員	結婚記念日を祝って頂き
石黒貴也会員	事業所創業を祝って頂き
細井 勉会員	入会記念日を祝って頂き
山本博史会員	〃
滝下 勲会員	〃
山本章吾会員	〃
林 博宣会員	〃
坂口幹夫会員	誕生日と結婚を祝って頂き
樺山修一会員	誕生日と入会を祝って頂き

会報担当：乙部享祐・杉浦和人・原田浩史